



“KANAGAWA” 福祉タイムズ

2005 1 No.638

発行日 2005年（平成17年）1月15日
毎月1回15日発行
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
TEL045-311-1423 FAX045-312-6302
<http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/>
編集発行人 平本邦夫
定価 100円（税・郵送料込）
印刷所 株式会社 神奈川機関紙印刷所
昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「ぼくをひいてくれた手 今度はぼくがひく番」小田原市立国府津小学校4年の石井良幸君は、第25回ともしきポスターコンテストで大賞を受賞した。石井君は絵の題材として自分のおじいちゃんを選んだ。写真を見ていて、小さい頃手をひいてくれたおじいちゃんを思い出したからだという。「今度は僕が大きくなって連れて行く番」そうできるように頑張りたいと思った。今、空手・サッカー・スイミングと毎日がとても忙しい石井君は「今やっていることをしっかりやりたい」と笑顔で話す。（写真・文 菊地信夫）

⇒ あんぐる ⇐

正月早々、尾籠な話だが、昨年末に覚悟を決めて大腸の内視鏡検査を受けた。便潜血反応が出ていたのに、受検の勇気が出ず、たじろいだまま過ごしてきた。内視鏡で腸内をかきまわされる屈辱感以上に、それがめつばう痛いためである。前年に初めて検査台に横たわったときは七転八倒した。あの検査が苦痛でないという人もいるから不公平だ。

しかし、知人や親類の中に、やれ癌で胃を切っただの、大腸の癌を患っただの話を聞くにつれ、追い込まれた。年格好も似ている。人ごとではない。それで覚悟を決めた。

首尾は今回も散々だった。医師が「もうちょっとだからね」とか「もうすぐだよ」とか励ましてくれる。やっと内視鏡が最深部に達した時には「ごめんね」「よく頑張ったね」などと慰められた。まるで子供である。

結果、小さなポリプが一つ見つかり切除してもらった。ポリプ発見も二度目なので家族も職場もあまり騒いでくれない。当の医師だけが「あんたの腸はひねくれている。他の医者では手に負えん。またおいで」と慈愛とも不気味ともとれる笑みを寄越した。

一病息災。要はそうでなくてはならぬ。内視鏡という文明の利器に感謝ではある。

神奈川新聞文化部長 福江裕幸

目次.....CONTENTS

16年社会福祉関係者叙勲・褒章等受賞者.....	2・3
ともしきポスター・絵本コンテスト入賞作品決定.....	3
2004年福祉の動き.....	4・5
保育園にとつての「子育て支援」.....	6
長寿社会開発センターいきいきはつらつ.....	7
連載・つながりをもとめて(10).....	10・11

迎 春

会員の皆様とともに健やかな新年を迎えられました
ことをお喜び申し上げます。

さて、昨年は、台風や地震による大規模な災害が相
次ぎ、自然の恐ろしさを改めて思い知らされたわけ
ですが、それに対する公的団体としての社会福祉協議会
の連携の強さによる支援体制の充実ぶりが、際だつた
年であつたように思われます。県社協としてもこれら
の事を教訓にして、本県における災害時の相互支援の
体制や方法等を、会員の皆様と検討してまいりたいと
存じます。

また、本年は県社協における中期的な活動目標とな
る推進計画を策定する大事な年でもございます。会員
の皆様や広く県民の皆様から御意見をいただき、計画
づくりに取り組んでまいります。どうか、旧年にも
増してなお一層のご支援を賜わりますようよろしくお
願い申し上げ、年頭のあいさつといたします。



社会福祉法人

神奈川県社会福祉協議会

会長 林 英 樹

叙勲・褒章等受賞者名簿

◇民生委員優良活動団体（感謝状）

旭区民生委員児童委員協議会（横浜市旭区） 高津第3地区民生委員協議会（川崎市高津区）

◇共同募金運動奉仕功労者

尾崎博（秦野市） 程島音次（茅ヶ崎市） 小島喜治（横浜市都筑区） 石川ティ（横浜市泉区） 中島豪一（川崎市麻生区）

◇共同募金運動奉仕功労団体

横浜市社会福祉協議会福祉ボランティア・市民活動部会（横浜市中区） 横須賀地区更生保護女性会（横須賀市） 相和婦人会（相模原市）

◇社会福祉事業施設の長・社会福祉事業団体関係功労者

山川保（白十字会林間学校施設長） 水島貞（つちやホーム施設長） 高橋徳昭（上白根園施設長） 小田法子（小山保育園園長） 坂本紀美子（立正保育園園長）

◇社会福祉事業施設従事功労者

鈴木節子（桜山保育園副園長） 赤井英子（富士見保育園園長） 山田ちゑ子（白百合乳児保育園調理員） 御所協芳子（共楽荘特養ホーム事務員） 石川貞（すこやか保育園保育士）

◇福祉事務所等職員功労者

辻隆造（県厚木児童相談所課長） 植松治彦（県相模原児童相談所課長） 小澤充（逗子市福祉事務所副主幹） 岩崎晴子（横浜市中福祉保健センター係長） 梨本哲（横浜市中心児童相談所係長） 高橋すみ子（横浜市戸塚福祉保健センター現業員） 宇田稔（川崎市川崎福祉事務所係長） 野村義男（川崎市幸福福祉事務所係長）

◇生活保護指導職員等功労者

花井正（県生活保護課嘱託医） 西井華子（県生活保護課嘱託医） 田中晋也（秦野市福祉事務所嘱託医）

法務大臣表彰

◇保護司（表彰）

藤井真一（西） 飯田博、金坂環、渡井和佳（南） 内田康雄（港南） 井上幾弘、藤生喜代蔵（磯子） 齊田テル（金沢） 加藤庄吉、三宅和代（神奈川） 鈴木信男（港北） 鈴木好行（保土ヶ谷） 石塚市良、伊藤彰哲（戸塚） 遠藤恭正（川崎） 福田喜久雄（幸） 横山良雄（中原） 赤津武雄（高津） 竹間孝二（宮前） 今村照美、加藤行一（横須賀） 宇田喜代江、大和昌平、加藤貢（大和綾瀬） 高橋一雄、山口進（座間海老名） 伊倉二郎、神崎雅、中村善一（相模原） 高城和子（津久井） 三武健太郎、和田健司（厚木） 端山清子（大磯） 原田正志（秦野） 杉本忠正、横井ラクヨ（足柄下）

◇更生保護女性会員（感謝状）

飯田福子（中） 佐伯律子（青葉） 湯浅知十（保土ヶ谷）

「もしも」ポスター・絵本コンテストの入賞作品が決まりました！

「みんながともに生きるまち」をテーマに、本県在住・在学の小学生、中学生、高校生の皆さんから作品を募集した「もしも」ポスター・絵本コンテスト」は、今回で、ポスターの部が第二十五回目、絵本の部が第十八回目となります。毎年数多くの作品がコンテストに寄せられますが、本年度もポスター千五百五十九点、絵本二百二点の応募がありました。作品はど



表彰式の様子

れも個性豊かで、子どもたち一人ひとりが考えたメッセージや思いが伝わってきました。

応募された作品は審査会を経て、両部門とも、もしも大賞一点、最優秀賞六點、優秀賞・佳作各二十点、計四十七点が選ばれ、去る十一月二十一日に、横浜情報文化センター・情文ホール（横浜市中区）にて表彰式を開催しまし

た。

表彰式では、本会林英樹会長のあいさつに続き、ポスターの部、絵本の部の各入賞者へ賞状・記念品の授与を行いました。

また、審査委員を代表して、ポスターの部は画家の土田邦彦さん、絵本の部は県立総合教育センター研修指導主事の平野明さんのお二人より、入賞作品をはじめ、今回の応募作品への講評をいただきました。お二人からは、ポスターや絵本で「表現する」という過程の中で、自分の思いを見つめなおす機会が作られるという心に残るお話とともに、今後の製作にあたって期待することなどをお話いただきました。

今回入賞した作品は、来る四月十六日・十七日に、横浜駅西口のかながわ県民センターで開催される「市民活動フェア二〇〇五」にて展示するほか、本会ホームページにも掲載いたします。

子どもたちがそれぞれに思い描いた作品は、思いやりや優しさがいっぱいです。ぜひご覧ください。

（もしも普及課）

※本年度「もしも大賞」受賞作品は、本紙一・十二面に掲載されています。

平成16年社会福祉関係者

叙勲・褒章

◇旭日双光章

斎藤 達雄（元神奈川県里親会会長） 梶居 祐三（編高谷福祉会理事長）

◇瑞宝双光章

秋田六子（元国際親善総合病院看護部長） 池田和男（横浜市鶴見保護司会理事） 石井昭（横須賀市保護司会中央支部理事） 磯田正一（編鎌倉市社会福祉協議会顧問） 抱井康夫（三浦地区保護司会副会長） 金子忠雄（川崎市幸区保護司会会長） 木村和子（横浜市磯子保護司会副会長） 小磯義範（神奈川県保護司会連合会会長） 河野こん（横須賀保護司会理事） 佐竹敬（綾瀬ホーム施設長） 高島哲也（愛名やまゆり園支援部生活1課長） 時田純（潤生園施設長） 西方公一（横浜市保土ヶ谷保護司会副会長） 古橋美津子（川崎市高津区保護司会理事） 望月久子（鎌倉地区保護司会理事） 矢部皖一（編成光福祉会理事長）

◇瑞宝単光章

笠井元秋（元貴峯荘第二職業更生センター縫製科長） 門倉和夫（元横浜市戸塚区民生委員児童委員協議会民生委員児童委員） 小島武子（元横浜市緑区民生委員児童委員協議会副会長） 小島雅子（元二宮保育園主任保育士） 森三郎（編至泉会理事長） 安田久代（元県立さがみ緑風園指導員） 泰山勝子（元平塚ふじみ園総括主任寮母）

◇緑綬褒章

古知屋多恵子（社会福祉施設等奉仕者） 島田トシ（社会福祉施設等奉仕者） ニーズ対応チーム（在宅福祉等奉仕団体） 秦野市各種婦人団体連絡会うぐいす会（医療施設等奉仕団体）

◇藍綬褒章

石原チエ子（横浜市青葉区民生委員児童委員協議会会長） 大友光子（横須賀保護司会理事） 緒方陽子（元横浜市青葉区民生委員児童委員協議会民生委員児童委員） 小倉一渾（藤沢市保護司会会長） 金子勝雄（横浜市西保護司会副会長） 金子順一郎（川崎市中原区保護司会理事） 小林博昭（大和・綾瀬保護司会会長） 小室治男（津久井地区保護司会理事） 小山裕明（相模原市保護司会保護司） 高橋紀樹（神奈川県歯科医師会専務理事） 長島温子（横浜市港北保護司会理事） 成實久子（元鎌倉市民生委員児童委員協議会会長） 早川昭二（元大和市民生委員児童委員協議会副会長） 松本幸（足柄上地区保護司会会長） 吉野浪子（川崎市多摩・麻生区保護司会理事）

厚生労働大臣表彰

◇民生委員児童委員功労者

笹尾春吉（平塚市） 高橋政勝（大和市） 菅沼豊満（湯河原町） 橘川サダ（綾瀬市） 山口陽子（横浜市緑区） 佐藤信男（横浜市鶴見区） 長瀬潔（横浜市栄区） 宮田洋子（横浜市都筑区） 矢野美千代（川崎市麻生区） 山本和夫（川崎市中原区） 関正憲（川崎市幸区） 押元伸夫（横須賀市） 但馬明（横須賀市） 石崎東巳（相模原市） 石川テル（相模原市）

福 社 の 動 き

○全国の動き
◇県内の動き
★本会の動き

福祉関連のうごき（○数字は本紙での関連記事掲載月）		社会のうごき
1	○厚労省が来年に予定される介護保険制度抜本見直しのための「介護制度改革本部」を設置 ○厚労省がパート社員等の育児・介護休業取得などを柱とした法改正案の骨格をまとめる。2005年度の実施目指す ○厚労省の調査で介護保険制度開始から4年で25億円の介護報酬の不正請求があったことが判明 ○文科省が「軽度発達障害」の子どもたちの教育について初めてガイドラインをまとめる ★県より痴呆性高齢者グループホーム外部評価機関に選定される②⑧⑩ ○参院の「DV防止見直しに関するプロジェクトチーム」がDV防止法改正案骨子をまとめる ○内閣府が夫婦間の家庭内暴力相談施設の運営実態に関する初の全国調査を実施 ○厚労省と国交省がタクシー事業の許可がなくても介護等の輸送を可能とする法案をまとめる。道路運送法第80条改正 ◇NPO法人障害者雇用部会と県経営者協会が事例研究会等を通じ障害者雇用の企業支援に乗り出す ◇全国初の市民基金「神奈川子ども未来ファンド」が児童問題等に取り組みNPOに対し助成受付を開始	▽山口県で鳥インフルエンザ発生 ▽阿蘇山で土砂噴出 ▽芥川賞に最年少20歳の金原さんと19歳の綿矢さん
2	○厚労省の検討会が「心の病」理解に向けた指針「こころのバリアフリー宣言」をまとめる ○県中央児童相談所が子どもへの性的虐待に関する初の実態調査を実施。6割が父親から虐待を受けていることが判明 ○県が「福祉サービス第三者評価あり方検討会」の報告書まとめる⑤ ○学習障害や注意欠陥・多動性障害等の児童・生徒のフリースクールを運営するライナスの会がNPOでは全国初の構造改革特区に認定 ★市町村社協におけるトップマネジメント機能の構築に向けた提言まとめる⑧ ○「個人情報保護法案」衆院委で可決成立。2005年10月施行 ○「母子家庭及び寡婦の生活の安定と向上のための措置に関する基本方針」最終改正される④ ○日本点字図書館と日本ライトハウスが自宅のパソコンから録音図書が聞ける「びぶりおネット」の配信を開始⑤ ○県の10年間の障害施策計画である「かながわ障害者計画」スタート ○県が母子家庭の自立を図るための就職情報を提供する登録制度を開始 ○県が「神奈川県母子家庭等自立促進計画」1つとり親家庭サポートプランを策定 ◇横浜市の障害児保育全国展開に向け、「特別支援児童加算」、「一時保育障害児加算」の助成制度を新設 ◇川崎市にホームレス一時宿泊施設「愛生寮」がオープン ★「新県社協活動推進計画」の改訂実施計画をスタート⑤	▽巨人の元監督・長嶋茂雄氏が脳梗塞で緊急入院 ▽神戸連続児童殺傷事件で逮捕された男性が収容先の関東医療少年院を仮退院 ▽平塚市の酪農家が売却した牛がBSEに感染 ▽オウム真理教・松本智津夫被告に死刑判決 ▽東証バブル後最安値を更新。82年11月以来的の水準 ▽六本木ヒルズがオープン ▽イラクで日本人拘束 ▽平塚市に県内初の女性市長誕生 ▽江の島の新シンボル「江の島展望灯台」誕生 ▽「湘南市」設立に向けた合併協議休止 ▽消費税と本体価格の総額表示スタート
3	○厚労省が介護サービス全事業者に情報開示を義務づけるべきだとする中間報告をまとめる ◇横浜市内西区に若者の就職を支援する「かながわ若者就職支援センター」オープン ◇横浜市内都筑区の市交通局・旧牛久保研修所内に不登校の子どもたちを支援する「ハートフルスペース」オープン ◇大和市消防本部が聴覚・言語障害者を対象にした「Eメール119番」システムの運用を開始 ◇三浦市社協の在宅介護部門がNPO法人として独立。「三浦市介護サービスセンター」として業務を開始 ★任期満了に伴い役員・評議員改選される。会長に林英樹就任⑥ ○「障害者基本法」改正 ○内閣府の「少子化社会対策会議」が少子化の流れを変えることを目指した「少子化社会対策大綱」まとめる⑧ ○神奈川・埼玉・千葉県知事が厚生労働大臣に特養ホーム建設の国庫補助削減廃止の要望を提出 ○川崎市に不登校や学習についていけない子どもたちを対象とする「NPO法人教育活動総合サポートセンター」がオープン ◇「かながわ福祉サービス第三者評価推進機構」発足⑦	▽世界のエイズ死者2,000万人を超える ▽「有事関連7法案」成立 ▽拉致被害者家族5人帰国 ▽イラクで日本人フリー記者2人殺害される
4	○「障害者基本法」改正 ○内閣府の「少子化社会対策会議」が少子化の流れを変えることを目指した「少子化社会対策大綱」まとめる⑧ ○神奈川・埼玉・千葉県知事が厚生労働大臣に特養ホーム建設の国庫補助削減廃止の要望を提出 ○川崎市に不登校や学習についていけない子どもたちを対象とする「NPO法人教育活動総合サポートセンター」がオープン ◇「かながわ福祉サービス第三者評価推進機構」発足⑦	▽イラク暫定占領当局がイラク暫定政府に主権移譲 ▽球界再編、近鉄とオリックスの合併が決定 ▽米元大統領ロナルド・レーガン氏死去
5		
6		

12 ★内閣府の調査で高齢者の趣味・地域の社会活動の参加率が88年の調査以来初めて半数を超えたことが判明 ○厚生省の「社会保健審議会介護保険部会」が介護給付抑制に向け施設利用者の費用負担、介護予防の重視などを盛り込んだ報告書案まとめる ○厚生省の調査で児童虐待者の4割は虐待の認識がないことが判明 ○国民生活センターによると高齢者の訪問販売による「次々販売」の被害急増。5年前の3倍に ◇県内のパソコンボランティアやリハビリ機関、障害者団体等が集まる「かながわ障害者ITネットワーク」が発足⑧ ★本会ほか県内6社協の職員が新潟県豪雨災害の支援にあたる⑨ ○厚労省が2005年度に約3,000カ所を目標に介護予防拠点を整備する方針を決定 ○厚労省の「障害者雇用問題研究会」が障害者の就業機会拡大をめざした報告書を公表⑩ ◇県の調査で県内のホームレスの人数が1,928人と全国4位に達していることが判明 ◇川崎市が「ホームレス自立支援実施計画案」を公表。野宿生活を前提にした事業から自立支援に施策を転換していく方針を固める ○厚労省の「精神保健福祉対策本部」が社会的入院解消に向けた「改革ビジョン」を策定 ○来年度の介護保険制度改革に向け介護予防サービス創設のモデル事業が全国でスタート ○厚労省が児童虐待の深刻化に伴い児童相談所を24時間無休にして専門職員を常駐させることを決定。2005年度の実施 ○厚労省が無業者（ニート・Not in Education、Employment or Training）を初めて調査。52万人に上ることが判明 ○厚労省がうつ自殺を労災認定する際の基準になる「心理的負荷評価表」を見直すことを決定 ★「日常生活圏域活動実践交流会」を開催⑪ ○国連の特別委員会が「障害者権利条約案」の概要を公表 ○「改正児童虐待防止法」施行。早期発見へ通報義務拡大 ○「年金制度改革法」施行。国民年金未納者への納付履歴通知サービス等を開始 ○厚労省が来年度からの障害者施策の改革試案（グランドデザイン）をまとめる ○厚労省が全国の盲・ろう・養護学校の教員にたん吸引などの一部の医療行為を認めることを決定 ○厚労省の「社会保障審議会福祉部会」が社会福祉施設職員等退職手当共済制度を抜本的に見直す必要性を示す ◇横浜市の「休日・年末年始保育」、「病後児保育」、「二十四時間型緊急保育」の三モデル事業を開始 ◇藤沢市が小児医療費助成を4歳から小学校入学（就学）前までに拡大 ★「福祉用具の日」記念イベントinかながわ⑫を開催⑬ ○フィリピンとの自由貿易協定（FTA）交渉で看護師・介護士受け入れについて大筋で合意 ○厚労省がヘルパー1・3級資格付与を廃し「介護福祉士」に統一する方針を示す ○厚労省の検討会が「痴呆」に代わる呼称を「認知症」とする方向を示す。来年度より導入の予定 ○厚労省がケアマネジャー資格の更新制の導入や登録証の更新と更新研修などを盛り込んだ方針を決定 ◇横須賀市が5年間で一時保育・預かり人数を二倍にするなどの目標数値を掲げた「よこすか子育て支援行動計画案」（仮称）まとめる ◇「三位一体改革案における日本の児童福祉を考える緊急集会」開催される⑭ ◇「福祉教育・ボランティア学習学会第10回かながわ大会」（於県立保健福祉大学）開催される⑮ ★本会ほか県内12社協の職員が新潟県中越地震の支援にあたる⑯ ○無年金障害者を救済するための「特定障害者給付金支給法」が成立 ○政府がDV防止と被害者の保護に向けた基本方針を告示 ○「発達障害者支援法」成立。自閉症や学習障害などの発達障害早期発見や支援体制に光明 ○厚労省と文科省の合同検討会議が総合施設（幼保一体化施設）についての最終とりまとめを公表 ○厚労省が2005年度から5年間の「新エンゼルプラン」の原案を公表 ◇民生委員児童委員の一斉改選が行われる。横浜市や川崎市などの都市部では定員に満たず検討課題に⑰ ★「福祉サービス第三者評価機関かながわ」が県の第三者評価機関に認証される ★全国初の福祉従事者研修受講履歴管理サポートシステム「エチュード」完成⑱	11 ○自殺者過去最多の34,427人に ▽記録的猛暑続く都心の一カ月の平均気温28.5度 ▽新潟県・福井県で豪雨災害発生 ▽第20回参議院議員通常選挙 ▽北朝鮮拉致被害者曽我さんの家族帰国 ▽アテネ五輪・アテネパラリンピック開幕 ▽駒大苫小牧高校が北海道勢初の高校野球全国制覇 ▽米軍ヘリが沖縄国際大学に墜落 ▽65歳以上の高齢者人口が2,484万人。全人口の19.5%と過去最高となる ▽第二次小泉改造内閣発足 ▽プロ野球再編を巡り初のストライキ決行される ▽浅間山が21年ぶりに中規模噴火 ▽国民年金未納者数が増加者の45%に ▽県が不妊治療費助成を開始 ▽「水俣病関西訴訟」は国・県の責任が確定 ▽イラクで日本人男性が人質になり殺害される ▽新潟県中越地震発生 ▽イチローシーズン最多の258安打達成 ▽大和市は16歳以上に対し住民投票資格を認める 「自治基本条例案」を可決。2005年4月施行 ▽新紙幣3種類発行 ▽ブッシュ大統領が米大統領に再選 ▽パレスチナのアラファト議長死去 ▽相模原市と津久井地域の任意合併協議会は法定合併協議会の設置を賛成多数で可決 ▽パ・リーグに新球団「楽天イーグルス」誕生 ▽政府・与党三位一体の全体像決定 ▽韓流ブームで俳優ベ・ヨンジュさん来日 ▽大型量販店「ドンキホーテ」で不審火相次ぐ ▽インドネシアスマトラ島沖でM9の巨大地震発生 ▽天皇家の長女紀宮さまの婚約内定 ▽大みそかの都心に21年ぶりの積雪 ▽自衛隊のイラク派遣延長を閣議決定 ▽「犯罪被害者基本法」成立	10 ○自殺者過去最多の34,427人に ▽記録的猛暑続く都心の一カ月の平均気温28.5度 ▽新潟県・福井県で豪雨災害発生 ▽第20回参議院議員通常選挙 ▽北朝鮮拉致被害者曽我さんの家族帰国 ▽アテネ五輪・アテネパラリンピック開幕 ▽駒大苫小牧高校が北海道勢初の高校野球全国制覇 ▽米軍ヘリが沖縄国際大学に墜落 ▽65歳以上の高齢者人口が2,484万人。全人口の19.5%と過去最高となる ▽第二次小泉改造内閣発足 ▽プロ野球再編を巡り初のストライキ決行される ▽浅間山が21年ぶりに中規模噴火 ▽国民年金未納者数が増加者の45%に ▽県が不妊治療費助成を開始 ▽「水俣病関西訴訟」は国・県の責任が確定 ▽イラクで日本人男性が人質になり殺害される ▽新潟県中越地震発生 ▽イチローシーズン最多の258安打達成 ▽大和市は16歳以上に対し住民投票資格を認める 「自治基本条例案」を可決。2005年4月施行 ▽新紙幣3種類発行 ▽ブッシュ大統領が米大統領に再選 ▽パレスチナのアラファト議長死去 ▽相模原市と津久井地域の任意合併協議会は法定合併協議会の設置を賛成多数で可決 ▽パ・リーグに新球団「楽天イーグルス」誕生 ▽政府・与党三位一体の全体像決定 ▽韓流ブームで俳優ベ・ヨンジュさん来日 ▽大型量販店「ドンキホーテ」で不審火相次ぐ ▽インドネシアスマトラ島沖でM9の巨大地震発生 ▽天皇家の長女紀宮さまの婚約内定 ▽大みそかの都心に21年ぶりの積雪 ▽自衛隊のイラク派遣延長を閣議決定 ▽「犯罪被害者基本法」成立	9 ○自殺者過去最多の34,427人に ▽記録的猛暑続く都心の一カ月の平均気温28.5度 ▽新潟県・福井県で豪雨災害発生 ▽第20回参議院議員通常選挙 ▽北朝鮮拉致被害者曽我さんの家族帰国 ▽アテネ五輪・アテネパラリンピック開幕 ▽駒大苫小牧高校が北海道勢初の高校野球全国制覇 ▽米軍ヘリが沖縄国際大学に墜落 ▽65歳以上の高齢者人口が2,484万人。全人口の19.5%と過去最高となる ▽第二次小泉改造内閣発足 ▽プロ野球再編を巡り初のストライキ決行される ▽浅間山が21年ぶりに中規模噴火 ▽国民年金未納者数が増加者の45%に ▽県が不妊治療費助成を開始 ▽「水俣病関西訴訟」は国・県の責任が確定 ▽イラクで日本人男性が人質になり殺害される ▽新潟県中越地震発生 ▽イチローシーズン最多の258安打達成 ▽大和市は16歳以上に対し住民投票資格を認める 「自治基本条例案」を可決。2005年4月施行 ▽新紙幣3種類発行 ▽ブッシュ大統領が米大統領に再選 ▽パレスチナのアラファト議長死去 ▽相模原市と津久井地域の任意合併協議会は法定合併協議会の設置を賛成多数で可決 ▽パ・リーグに新球団「楽天イーグルス」誕生 ▽政府・与党三位一体の全体像決定 ▽韓流ブームで俳優ベ・ヨンジュさん来日 ▽大型量販店「ドンキホーテ」で不審火相次ぐ ▽インドネシアスマトラ島沖でM9の巨大地震発生 ▽天皇家の長女紀宮さまの婚約内定 ▽大みそかの都心に21年ぶりの積雪 ▽自衛隊のイラク派遣延長を閣議決定 ▽「犯罪被害者基本法」成立	8 ○自殺者過去最多の34,427人に ▽記録的猛暑続く都心の一カ月の平均気温28.5度 ▽新潟県・福井県で豪雨災害発生 ▽第20回参議院議員通常選挙 ▽北朝鮮拉致被害者曽我さんの家族帰国 ▽アテネ五輪・アテネパラリンピック開幕 ▽駒大苫小牧高校が北海道勢初の高校野球全国制覇 ▽米軍ヘリが沖縄国際大学に墜落 ▽65歳以上の高齢者人口が2,484万人。全人口の19.5%と過去最高となる ▽第二次小泉改造内閣発足 ▽プロ野球再編を巡り初のストライキ決行される ▽浅間山が21年ぶりに中規模噴火 ▽国民年金未納者数が増加者の45%に ▽県が不妊治療費助成を開始 ▽「水俣病関西訴訟」は国・県の責任が確定 ▽イラクで日本人男性が人質になり殺害される ▽新潟県中越地震発生 ▽イチローシーズン最多の258安打達成 ▽大和市は16歳以上に対し住民投票資格を認める 「自治基本条例案」を可決。2005年4月施行 ▽新紙幣3種類発行 ▽ブッシュ大統領が米大統領に再選 ▽パレスチナのアラファト議長死去 ▽相模原市と津久井地域の任意合併協議会は法定合併協議会の設置を賛成多数で可決 ▽パ・リーグに新球団「楽天イーグルス」誕生 ▽政府・与党三位一体の全体像決定 ▽韓流ブームで俳優ベ・ヨンジュさん来日 ▽大型量販店「ドンキホーテ」で不審火相次ぐ ▽インドネシアスマトラ島沖でM9の巨大地震発生 ▽天皇家の長女紀宮さまの婚約内定 ▽大みそかの都心に21年ぶりの積雪 ▽自衛隊のイラク派遣延長を閣議決定 ▽「犯罪被害者基本法」成立	7 ○自殺者過去最多の34,427人に ▽記録的猛暑続く都心の一カ月の平均気温28.5度 ▽新潟県・福井県で豪雨災害発生 ▽第20回参議院議員通常選挙 ▽北朝鮮拉致被害者曽我さんの家族帰国 ▽アテネ五輪・アテネパラリンピック開幕 ▽駒大苫小牧高校が北海道勢初の高校野球全国制覇 ▽米軍ヘリが沖縄国際大学に墜落 ▽65歳以上の高齢者人口が2,484万人。全人口の19.5%と過去最高となる ▽第二次小泉改造内閣発足 ▽プロ野球再編を巡り初のストライキ決行される ▽浅間山が21年ぶりに中規模噴火 ▽国民年金未納者数が増加者の45%に ▽県が不妊治療費助成を開始 ▽「水俣病関西訴訟」は国・県の責任が確定 ▽イラクで日本人男性が人質になり殺害される ▽新潟県中越地震発生 ▽イチローシーズン最多の258安打達成 ▽大和市は16歳以上に対し住民投票資格を認める 「自治基本条例案」を可決。2005年4月施行 ▽新紙幣3種類発行 ▽ブッシュ大統領が米大統領に再選 ▽パレスチナのアラファト議長死去 ▽相模原市と津久井地域の任意合併協議会は法定合併協議会の設置を賛成多数で可決 ▽パ・リーグに新球団「楽天イーグルス」誕生 ▽政府・与党三位一体の全体像決定 ▽韓流ブームで俳優ベ・ヨンジュさん来日 ▽大型量販店「ドンキホーテ」で不審火相次ぐ ▽インドネシアスマトラ島沖でM9の巨大地震発生 ▽天皇家の長女紀宮さまの婚約内定 ▽大みそかの都心に21年ぶりの積雪 ▽自衛隊のイラク派遣延長を閣議決定 ▽「犯罪被害者基本法」成立
---	--	--	---	---	---

県社協のひろば

保育園にとつての「子育て支援」

本会施設部会には十の種別協議会があります。協議会の一つ、保育協議会は七百近い会員の保育園で構成され、研修会や研究委員会などを通じて、保育分野の課題に取り組んでいます。今回はその一部をご紹介します。

去る十一月二十九日、「保育現場での子育て支援のあり方を考える」をテーマに、今年度二回目の研修会を開催しました。進行は協議会の都築融光会長が、発表は田口努委員、柴田礼津子委員、河島末江子委員の三名が務め、横浜・川崎・県域それぞれの子育て支援の状況を学習するとともに、約百二十名の参加者が一体となつて「保育園にとつての子育て支援」を考えました。田口委員からは、横浜・市社協保育福祉部会子育て研究会のアンケートに見る一時保育の現状を、柴田委員からは、子育て支援センターとしての取り組みを、河島委員からは、子育て支援のポイントと県域の子育て支援の状況を発表し、併せて会場とのフリートークを行いました。

参加者からは、「一時保育では育児相談に応えるなど、保育士の資質が問われるのではないか」、「園庭開放に無理なく参加できる工夫をしているのか」、「事故発生時のために、どのような対応をしているのか」などの質問が出され、発表者や参加者が、これまでの経験を交えながら、意見を交換し合う姿が見られました。

今回の研修会の内容は、研究委員会の活動にも反映させていく予定です。現在、研究委員会では、保護者との係わり方についての事例を盛り込んだハンドブック「保育現場での子育て支援―子どもたちの健やかな育ちのために私たちができること」の作成に向けて準備を進めています。

法改正などを経て、保育園は、「保護者に代わり保育を行う」という従来からの役割に加え、「子育て支援」のための中心的な役割も担っています。今後、ますます期待されていく保育園ですが、社会情勢や家庭環境が変化しながら、保護者や子育て中の家庭と協力し合えるように、協議会の活動を展開していきたいと考えています。

(社会福祉事業課)

二〇〇一年ボランティア記念事業を開催

三年前、本県で開催された「第十回全国ボランティアフェスティバルかながわ」を契機に、様々なボランティア・市民活動が広がっています。こうした活動や市民による社会づくりに注目が集まる今、現場の実践と市民活動の基本に立ち返り、今後の可能性をさぐっていかうと、十二月五日、かながわ県民センターでラウンドフォーラムが開催されました。

(主催：二〇〇一年ボランティア記念事業実行委員会)

記念講演には、日本ボランティア学会代表で、明治大学教授の栗原彰さんが招かれ、「私たちはなぜ、ボランティアに注目するのか」をテーマに講演されました。

栗原氏は、市場／権力に対して個人の自由や存在を守るアソシアシオン(市民グループ)

などを必要としたように、近代社会はどちらか一方でなく両輪により支えられてきたこと。日本のボランティア・市民活動が一九八〇年代に現れた背景には、コミュニティ福祉国家の解体などに對する新しい共同性とアイデンティティの模索があり、個人の自発性に基づく、市民だからできる、生活レベルでできることがボランティア・市民活動の初心であると指摘。そして、「ボランティアや市民活動は、切れてしまった関係をつなぐ役割を担っている。それは『助ける・助けられる』という二分法を超え、互いに『存在して欲しい』と感じることであり、『信』を紡ぐことである。一人ひとりが原点に立ち返り、活動の意味や役割を問い直していくことが大切」と結ばれました。

シンポジウムでは、田尻佳史さん(日本NPOセンター事務局長)の司会のもと、鈴木治郎さん(県障害者自立生活支援センター)、柏木啓次郎さん(磯子精博会・県精ボ連)、小原芳郎さん(恩田の谷戸ファンクラブ)、早川秀樹さん(多文化まちづくり工房)、土屋真美子さん(よこはま里山研究所)が、活動の紹介と今後の目標・課題などを報告され、地域に足をつけ活動することや、多くの人が地域に関わることの大切さが確認されました。

(かながわボランティアセンター)



歴史的背景をふまえながらボランティア・市民活動のあり方を語る栗原氏

かながわ長寿社会開発センター

いき²
はつらつ

高齢期を健康で、いきいきと過ごしたい—
明るく活力ある長寿社会の実現に向けた取
り組みを紹介します。

〈問合せ〉 ☎045-311-8734 FAX045-312-6302
http://www.nenrin.or.jp/kanagawa/

なるほど！納得！ グループ活動の極意

仕事や子育てがひと段落し、「よし、これからの人生、自分の好きなことをしよう！」と、新たな仲間と出会い、始めたグループ活動。

しかし、思わぬことで活動がうまくいけなくなり、やがて休止に追い込まれてしまうケースがあるのも事実です。

そこで、センターではシニアのグループ活動をいつまでも活発に続けてもらうために、「仲間づくりフォーラム」、「グループリーダー研修」を開催します。

仲間づくりフォーラム

地域では多くのグループが、様々な問題に直面しながらも、一つひとつそれを克服し活発に活動を続けています。

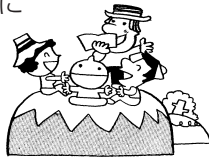
今回は、それらの取り組みを通して、いつまでも活発にグループ活動を続けるためのポイントを探ります。テーマは、「一人ひとりが積極的に参加するために」、「新たな会員の獲得に向けて」、「地域活動のグループリーダーのあり方は」の三つです。

仲間づくりフォーラム

- 【日 時】 2月15日(火) 13時～16時
【会 場】 かながわ県民センター 2階 ホール
【定 員】 150名 (参加費無料)
【申込み】 不要 (会場に直接お越しください)
【内 容】

I 実践事例から学ぶ

- ①一人ひとりが積極的に参加するために
報告：増山利夫さん
(青葉OBサロン代表)
- ②新たな会員の参加に向けて
報告：石井四郎さん
(いせはら生涯学習ボランティア協会事務局長)
(当センター・シニアの仲間づくり支援アドバイザー)
- ③地域活動のグループリーダーのあり方は
報告：辻 日出夫さん
(小修繕ボランティアグループ「リリーフクラブ」顧問)
(当センター・シニアの仲間づくり支援アドバイザー)



④対談

II 情報交換

日頃の活動上や運営上の悩み、取り組み事例などについて、事例報告者及び会場間で情報交換を行います

グループには、リーダーなどに依存して、あまり積極的に参加しない、「お客様会員」も出てきます。せっかく仕事や家庭から離れ、好きで始めたグループ活動。皆が気持ちよく、いつまでも積極的に参加できるような取り組みも重要です。

もう一つの大きな問題は、「会員の高齢化」。新しく若い世代が参加しないと、活動力が低下してしまうことがあります。そのため、新たな会員の獲得が大きな課題になっています。

そして、リーダーの役割も重要です。どんなグループでも多かれ少なかれ、リーダーを悩ませる問題はあるものです。会社組織とは違う地域活動のグループリーダーとして、どう問題にあたっていけばよいのでしょうか。

このほか、日頃の活動や運営上の問題解決のヒントになればと、情報交換の時間を設けています。

シニアグループリーダー研修

県内で活動するシニアグループのリーダーを対象に、地域活動をすすめる上での必要な知識・技術を学びます (定員20名)。

【日程】 2月2日(木)・9日(木)・15日(火)・17日(木)・24日(木)の五日間

【内容】 ①リーダーに求められるものは、②会議の持ち方・進め方、③コミュニケーションについて考える、④特別講義(仲間づくりフォーラム)、⑤広報・PRについて考える、⑥地域活動の実際(企画・立案・実施)

【申込み】 センターまでお問合せください (連絡先は上記に記載)

* *

最近、活動が停滞気味と感じている方。また、これから活動を始めてみようという方。是非この機会に、グループ活動を活発にするヒントを見つけてみませんか？

新着図書・資料

図書

読んでみよう！

★精神障害者社会復帰施設運営ハンドブック（全国精神障害者社会復帰施設協会、寺田一郎、中央法規）
★精神障害者社会復帰施設の整備の進め方、運営方法、実務課題への取り組みまでをまとめたハンドブック。

★少子高齢社会のライフスタイルと住宅・持家資産の福祉的選択（倉田剛、ミネルヴァ書房）

★痴呆ケアにおける社会資源（日本痴呆ケア学会、ワールドプランニング）

★地域社会形成の思想と論議（参加・協

私のおすすめの本

「あきらめないで！床ずれは治る」
大浦武彦 著



ふつうのくらし研究所
所長 吉川和徳

けがや病気で不活発な生活となった結果、二次的に生じる問題（二次障害）である褥瘡は、適切な知識に基づくケアによって、限りなくゼロに近づけることができるのではないかと。本書は、日本褥瘡学会生みの親である形成外科医の著者が、褥瘡とどのように対峙してきたのか、事例を交えながらわかりやすく解説している。私がこれまで出会った褥瘡に苦しむたくさんの方々に、無知ゆえに何もできなかった反省も踏まえ、医学関係者のみならず、褥瘡に苦しんでいるご本人やご家族、施設や在宅でのケアに従事するすべての職員に、一度は読んでいただきたい名著である。



2003年刊、メディカルトリビューン
定価1,470円（税込）

資料

★地区社協のてびきく地域からつくる福祉のまち（横浜市社協）
地区社協について、「活動編」、「運営編」、「会計編」にわけて分りやすくまとめた冊子。活動事例や運営カレンダー、会計に関する様式等を収録している。

働・自治（松野弘、ミネルヴァ書房）

★からだの不自由なお年寄りの食事づくり方と介助 第2版（医歯薬出版）

★社会福祉対象論（石田一紀、明文社）

★よくわかる補助犬同伴受け入れマニュアル（盲導犬・聴導犬・介助犬（同））

★マニキュア作成委員会、(N)日本介助犬アカデミー、中央法規

★増補！乳児保育のポイント（高野陽・増田まゆみ、全社協）

「福祉資料室」をご利用ください！

閲覧室のほか、文献検索、利用相談等のサービスを行っています。

◆利用時間：月～金（第3金曜、祝日、年末年始等を除く）の9時～17時

◆問合せ：☎045-311-8865
FAX 045-313-9341

◆インターネットでの資料検索
<http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/tosyo/>

～「新着情報コーナー」ができました。ぜひご利用ください！～

★グループホーム研究2003年度（児童養護施設城山学園）
★訪問介護におけるサービス提供者の在り方に関する実態調査報告書（長寿社会開発センター）
★市民による社会（地域）貢献活動と事業性に関する調査（川崎市コミュニティビジネス実態調査）（アリスセンター）
★地方の時代の社協ビジョン、その実現に取り組む都道府県・指定都市社協の活性化に関する検討委員会報告（全社協）
★生活透析百景Ⅱ（要介護者透析者の通院介護サービスに代表される医療アクセス権に関する調査活動報告書（医療アクセス権プロジェクト））
★高次脳機能障害を有する者の就業のための家族支援のあり方に関する研究（高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター）

今月のいちおし クリック！

「家庭防災ハンドブック」のホームページをご紹介します

誰でもできる防災対策のポイントが分かるサイト。いざという時の初期対応の方法や心構えのほか、災害弱者に対する支援の仕方などが、絵や図などで丁寧に説明されています。

1月15～21日は「防災とボランティア週間」、1月17日は「防災ボランティアの日」です。皆さんもこの機会に家庭の防災やボランティア活動について考えてみませんか？



<http://www.takefu.net/bousai/>

Information

役員会のこゝろ

◇理事会 12月20日・①正会員入会申込み、②各種委員会委員の選任、③本会事務局職員就業規程の一部を改正する規程(案)、④本会職員給与規程の一部を改正する規程(案)、⑤本会職員退職手当支給規程の一部を改正する規程(案)、⑥平成16年度一般会計補正予算(案)、⑦平成17年本会事業推進方針、⑧次期県社協活動推進計画策定基本方針(案)について

◇新会員紹介

「施設部会」すぎなの郷、レストア川崎、銀の舟よこはま、ぬるみず、ほほえみの丘

「第2種正会員連絡会」(N) 神奈川県介護支援専門員協会

「子どもの居場所情報箱」完成記念講演会

◇内容 乳幼児から若者、子育て中の親までの居場所を検索できるデータベースの完成を記念して、記念講演「子どもの育ちを支える地域ネットワーク(仮)」(東京大学大学院教授・汐見稔幸氏、チャリティ懇親会等を開催(定員100名)
◇日時 2月27日(日) ①記念講演会 14時、②懇親会 17時30分

◇会場 II エルパイネ老松会館

◇参加費 ①1千円(資料代)、②5千円

◇べ切り 2月18日(金)

◇問合せ 神奈川子ども未来ファンド

045-212-5825

FAX 045-212-5826

寄付金品ありがとうございました

「一般寄付金」▽妙深寺婦人会▽田中良平▽広瀬公子▽脇隆志▽藤岡昭夫「交通遺児援護基金」▽神奈川県石油業協同組合(株)小田原ジム取締役会長山田克己「こども福祉基金」▽神奈川県社会福祉会館来館者一同▽匿名「新潟県中越地震義援金」かながわ県民センター来館者一同「としむき基金」▽県立鶴見総合 平塚農業 三浦陽海 小田原 弥栄東 藤沢 川崎 七里が浜 城山 津久井浜各高等学校▽県立農業アカデミー▽水道局海老名 茅ヶ崎 逗子 綾瀬 相模原 鎌倉 二宮各営業所 寒川浄水場▽鶴見 瀬谷 小田原 秦野各養護学校▽神奈川県私立団体連合会▽湯河原中央温泉病院「かながわ県民活動サポートセンター」▽としむきショップアズバ「ドナギス店」▽としむきショップさくら▽としむきショップ輝▽としむきショップあいあい▽としむきショップ県民センター店▽としむきグッスコーナールプラザともしむきショップ▽ハイツ&ウィラながわ▽神奈川県看護協会▽小田原 厚木 相模原各児童相談所▽引地台公園売店▽県温泉地学研究所▽神奈川県青少年協会▽厚木商工労働センター▽よし乃湯▽中の湯▽松陽第二常盤湯▽里の湯▽千代田湯▽大野湯▽月見湯▽相模台浴場▽喜久の湯(有)日栄浴場▽戸塚浴場組合▽神奈川県傷痍軍人会▽神奈川県母子休養ホーム・老人保養所湖月荘▽産業技術短期大学▽紅葉ヶ丘 京浜 横須賀 秦野各高等職業技術校▽屏風ヶ浦保育園▽小田原 茅ヶ崎 津久井 三崎各保健福祉事務所▽食肉衛生検査所▽県立保健福祉大学事務局▽さがみ緑風園▽相模原 厚木 津久井各主事務所▽津久井教育事務所▽動物保護センター

▽神奈川 緑 横須賀 平塚 藤沢 鎌倉 相模原 大和 津久井各県税事務所▽神奈川県老人保養所万寿荘▽総合教育センター▽横浜労働センター▽中村興業(株)▽神奈川県商工会連合会▽富士シティオ(株)F.U.J.I.新校ヶ丘店▽県立総合療育相談センター▽ポルライトひかり▽聖テレジア病院▽神奈川健康生きがいづくりアドバイザ協議会▽県立川崎図書館▽県精神保健福祉センター▽横浜給与事務所▽湯河原パッキンボウル▽桜ヶ丘ボウリングセンター▽神奈川県社会福祉事業団▽県立図書館▽県土木整備部河津課▽湘南家畜保健衛生所▽足柄上教育事務所▽第二江陽館▽レストラン暖▽産業技術総合研究所▽第二平大文字荘▽横浜地区公園管理事務所▽循環器呼吸器病センター▽神奈川障害者職業能力開発校▽県立体育センター▽横浜川崎地区農政事務所▽横須賀三浦地区 西湘地区 津久井地区 足柄上地区各行政センター▽神奈川県技能士会連合会▽神奈川県社会福祉会館入居団体一同▽県総合ハビリテーション事業団▽家畜病性鑑定所▽病畜虫防除所▽計量検定所▽生命の星 地球博物館▽県企画部京浜臨海部活性推進課▽中井やまゆり園▽農業総合研究所▽横須賀老人ホーム▽神奈川県警職員一同▽神奈川県庁職員一同▽住友信託銀行港南台支店▽済生会神奈川県病院▽神奈川県議会事務局▽よこはま看護専門学校▽総合防災センター▽東京聖書教会▽神奈川県社会福祉会館来館者一同▽横浜市婦人団体連合会▽県立かながわ女性センター▽県企画部土地資源対策課▽環境科学センター▽柏木政江▽沼倉清治▽佐藤正平▽谷口不二子▽松田登代子▽石塚東一▽吉浜憲一代理人弁護士滝本太郎▽ミッキー安川▽盛屋八重▽遠藤毅香▽県社協職員一同 (計三 七九〇 二九二 四)

「寄付物品」▽トヨタ自動車(株)▽神奈川トヨタ自動車(株)▽日産労働神奈川地協(社)日本産業退職者協会▽神奈川県定年問題研究会▽日本発条(株)▽YCCゴスペルラヴァー▽志澤美智子▽福田恵理▽秋山(順不同 敬称略)

NTTファシリティーズ

社会福祉施設の企画、設計・監理、リニューアルから維持管理まで総合的に施設づくりをお手伝いします。

東京都港区芝浦3-4-1

0120-72-73-74

TEL 03-5444-5000

E-mail: info@ntt-f.co.jp

http://www.ntt-f.co.jp/architect/index.htm

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



きかん印刷
株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒236-0004 横浜市中区金沢福浦 2-1-12

営業部 TEL045(785)1700代 FAX045(784)8902

制作部 TEL045(785)1768 FAX045(780)1598

http://www.kki.co.jp/

安心できる生活をどう守っていくか ①

これまでの連載では、子どもや高齢者、障害者など、主に現行の社会福祉制度の対象となっている方々が抱える様々な問題を取り上げ、今後の支援のあり方などについて考えてきました。

今回は、社会構造の変化により増加する「社会的援護を必要とする方々」の現状と課題を考えてみよう、「国際親善総合病院 医療福祉相談室」の医療ソーシャルワーカー・佐野知子係長にお話を伺いました。

福祉を目指した医療をする病院

今回ご紹介する「医療福祉相談室」以下、相談室は、社会福祉法に基づく医療施設である「福祉医療病院」の中に設置されています。

福祉医療病院の歴史は古く、明治時代の頃より、医療に恵まれない貧困な方々のための医療施設として活動が始まりました（当時は施療病院や慈善診療所等の名称で呼ばれていました）。同じような目的で、戦後混乱期に開設された病院もあり、昭和三十六年に「国民皆保険」となるまでの間、生活困難者のための医療・福祉の要として活躍してきました。

昭和二十六年の社会福祉事業法制定後は、第二種社会福祉事業として、主に低所得者の方々の医療を受け持つ「無料低額診療事業」を行う施設として位置づけられました。

一般の病院と変わらない科学的

で適正な診療を行うと同時に、病気に伴い生じる様々な問題への支援や、特に低所得のために医療を必要としながらも費用の負担が困難な方々に対し、費用の免除や軽減を行うことで、医療と生活を支援する役割を担う福祉医療病院は、現在、全国に二百三十一カ所あります。

福祉的視点で医療を支援するMSW

「国際親善総合病院」（以下、病院）は、相鉄線「弥生台駅」近く、横浜市西部に位置する泉区西が岡にあります。

一八六七年に、横浜港近くで慈

善事業的病院として開設してから百三十年以上もの間、生活困難者に手厚い医療と福祉を提供し、現在地に移転後、地域医療の中核として欠かせない存在となっています。病床数は三百床。そのほかに、一日七百人以上の外来患者が訪れるこの病院の相談室では、佐野さんを含め、総勢三名の専任医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）が、病気を抱える方々の様々な相談に応じています。

「病気になるということは、身体はもちろん、精神的にも経済的にもとても不安な状態になります。私たちMSWは、医療チームの一員として医療技術スタッフと協力し合いながら、病気を治していく過程の中で生まれてくる心配ごとや悩みに対し、福祉的な立場から相談に応じ支援にあたっています。病院は生まれる前から亡くなるまでの方を対象としていますので、幅広い世代の多種多様な相談があります。病気を抱える本人

はもちろん、そのご家族や支援者の抱える不安や問題に応じることにも少なくありません。そうした方々を支援することも大切な役割の一つだと考えています。また、地域の医療・福祉関係者と連携を図ったり、福祉医療相談室を通じて相談活動なども積極的にを行っています」と佐野さんは話します。

制度の網の目から抜け落ちる人が増加

昨年度、相談室で対応した相談は三千九百四十一件。その数は年々増加する傾向にあるそうです。

「退院後の在宅生活のための調整や転院のための情報提供、福祉施設を利用するための相談などが最も多く、次いで療養に関わる諸問題、様々な制度の活用方法や医療費に関する相談の順となっています」

そうした相談を通じ感じていることについては、
「様々な制度が整備されているにも関わらず、どの制度も対象に

全国の福祉医療病院数

都道府県名	数
北海道	14
岩手県	3
福島県	2
茨城県	4
栃木県	2
群馬県	3
埼玉県	6
千葉県	4
東京都	42
神奈川県	28
新潟県	4
富山県	2
石川県	6
福井県	2
長野県	2
静岡県	4
愛知県	3
三重県	2
滋賀県	5
京都府	28
大阪府	26
兵庫県	3
奈良県	6
和歌山県	1
島根県	1
岡山県	3
広島県	4
山口県	2
徳島県	1
香川県	1
愛媛県	4
福岡県	5
佐賀県	1
長崎県	4
熊本県	2
鹿児島県	1

※全社協・全国福祉医療施設協議会
資料より抜粋

ひと・ネットワーク 147

「利用者さんの
QOL向上のために」

かながわケアマネジメント研究会
代表 大塚茂雄



介護保険の導入から4年が経過し、制度そのものは定着したかに見えますが、私たちケアマネジャーから見ると、まだまだ「ケアマネジメント」という名前の大海原を漂流しているような状況のように思います。昨年出された高齢者介護研究報告書では、アセスメントが不十分な「御用聞きケアマネ」が存在すると指摘され、介護保険制度の見直し議論でも、自立支援のためのケアプランが作成されていないために、要介護状態の悪化を招いている、闇雲に福祉用具レンタルを勧めている等、ケアマネジャーにとっては、順風満帆の航海とは言えないようです。

こうした問題を抱えた中で、私は平成15年11月に、県社協主催の「福祉用具アセスメント研修」を受講しました。この研修では「福祉用具のアセスメント」を学ぶものだとばかり思い参加したところ、その内容は、福祉用具活用のための生活機能のアセスメント方法を学ぶ研修だったのです。この時、自分を含めて今までケアマネジャーが、利用者さんの生活機能のアセスメントやニーズ抽出が十分に出来ていなかったことに気付かされ愕然としました。そこで、せっかくの気付きも日々の業務に流されてしまっただけは、また元の本阿弥と思い、この研修で学んだことを日々の業務の実践へ役立てるべく、自分たちで継続的に学習を行いたいと考え、本年9月に有志を募り、「かながわけアーマネジメント研究会」を立ち上げました。

この会では、今後も自分たちケアマネジャーによる勉強会として、事例検討会を開催したり研究活動に取り組んで行きたいと思っています。会の活動で培ったノウハウを利用者さんへの質の高いサービス提供につなげるとともに、利用者さんのQOL向上と、私たち自身の「やりがい」の向上に役立てればと考えています。

ならなかったり、支援機関があってもその数が少なかったりするために、十分に支援が行き届かずに困っている方々が、大変増えてきているということです。こうした方々は、お元気なうちは働くこともできますし、何らかの形で社会参加ができますので、誰かに助けを求めなくても、多少の問題であれば何とか解決していくことができます。しかし、病気になってしまったりそれがきっかけとなり、これまで築いてきた生活が一気に崩れてしまうことが多いため、経済的な側面だけでなく、その方の生活全般を支援するために必要な事柄を考えていく必要があるのです」と言葉を続けます。

増加の背景にある要因

制度が充実していくのとは裏腹に、そこから抜け落ちてしまう方が何故増えているのか。

その要因について佐野さんは、「経済的援助という側面から制度を見てみると、対象も内容もきめ細やかになり、活用できる方も増えてきていると感じています。

しかし、行政や福祉関係者の専門性が向上する一方で、その制度の枠の中でしか対象者や問題を捉えられなくなり、その枠からもれてしまっている方々の問題に目が向けられにくくなっている状況があるように思います」

またもう一つには、

「バブル崩壊など経済環境が変化してくる中で、個々の働き方や価値観が変わってきていること。また、都市化や少子高齢化などによって、住まい方や家族構成、地域社会の共同性が薄らいでいく中で、地域社会と人、あるいは人と人の関係に摩擦や排除、孤立という現象が生じ、そこから新しい問題を抱える方々が生まれてきているということだと思います」

新たな社会福祉の対象

佐野さんは今回の取材を通し、「そうした背景からか、相談室には、ホームレスの方や外国籍住民の方、リストラなどによって低所得になってしまった方々のほか、

高齢者あるいは障害者だけで暮らしているために、様々な問題を抱える方や病気やけがのため日々の生活が困難になった方なども多く訪れます。こうした方々がどのような問題を抱え、どんな支援を必要としているのかを、知っていたら、機会になれば嬉しく思います」と話されます。

来月号では、相談室に訪れるこうした方々の声に、佐野さんたちMSWの皆さんがどのように耳を傾けているのか。具体的な事例を詳しくお伺いしながら、今後の支援のあり方について考えていきたいと思います。

◆国際親善総合病院
045-813-1022(代)



相模原市立淵野辺小学校
6年 石川竜也さん

絵本の部
「ともしび大賞」
作品紹介

絵本づくりは、複雑で手間のかかる作業を重ねていく表現です。

それだけに、話の内容はもちろん、作り方にもいろいろな工夫を試みながら、自分の思いを伝えることができます。

今回応募をいただいた「ともしび絵本」も、その一つひとつに子どもたちの思いがたくさん込められていました。その中で大賞に選ばれたのが、石川さんの作品です。

初めての冬眠を迎え、ひとりぼっちのさみしさに泣いてしまう、くまさん。そんなくまさんに、森の仲間たちが雪だるまをプレゼント…。

その物語が、巧みな絵によって効果的に表現され、温もりが感じられる作品になっています。

石川さんの優しい人柄が伺えるこの作品。読んだ後、心に温かい風が吹いてきませんか？

(ともしび普及課)



一 社会福祉施設の設計監理一

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808

TEL03(3449)1771(代) / FAX03(3449)1772

E-mail: BCH12011@nifty.com

URL: www.yasue-sekkei.co.jp



G (母子生活支援施設) (横浜市)



新築・増築・改修等お気軽にご相談ください